

記事を読んで、問いに答えなさい。

2022年5月13日朝刊中部版

牧之原開墾を指揮した旧幕臣の大草高重（1835～1892年）が愛用したと伝えられる甲冑（かっちゅう）が島田市牧之原の大草家から同市博物館に寄託され、22日まで開催中の「いまだけ こだけ くびったけ 推しのお宝大公開」の前期展で初公開されている。

## 大草高重の甲冑初公開

### 江戸時代中～後期制作？

#### 牧之原開墾を指揮した旧幕臣



初公開された大草高重の甲冑  
＝島田市博物館

22日まで 島田市博物館

甲冑はかぶとに鍔形（くわがた）の前立てが付く。青色の糸が使われ、胸板の上部には丸に「両引」の紋があり、大草家の始祖である足利家の家紋を制作時に付けたと考えられるという。かぶとの内側に「上州住草之女家則」の名前が刻まれ、江戸時代中頃～後期に制作されたとみられる。隠居した徳川慶喜の護衛役を務めた大草高重は中條景昭とともに旧幕臣を率いて牧之原開墾に従事し、茶園経営者としても成功している。甲冑はひょうぶな草家から寄託され、同博物館が調査を進めていた。主任学芸員の朝比奈太郎さんは「弓の名手家から信頼された人物。甲冑は当時を知る貴重な資料」と話している。

（島田支局・中村綾子）

①5月22日まで島田市博物館で展示されている甲冑を愛用したと伝えられている人物とは誰か。文中から漢字4字で抜き出さなさい。

--	--	--	--

②前問1の人物は、江戸時代から明治時代にかけてどのような役割を果たしたのか。次の語句を必ず使って説明しなさい。 < 護衛役 >

③文中で述べられている中條景昭はどのような役割を果たした人物か。自分で調べ、その人物に関する魅力的なスポットについて資料を作成し、プレゼンしなさい。

年 組 名前

記事を読んで、問いに答えなさい。

**解答例**

2022年5月13日朝刊中部版

牧之原開墾を指揮した旧幕臣の大草高重（1835～1892年）が愛用したと伝えられる甲冑（かっちゅう）が島田市牧之原の大草家から同市博物館に寄託され、22日まで開催中の「いまだけ こだけ くびったけ 推しのお宝大公開」の前期展で初公開されている。

## 大草高重の甲冑初公開

### 江戸時代中～後期制作？

#### 牧之原開墾を指揮した旧幕臣



初公開された大草高重の甲冑  
＝島田市博物館

22日まで 島田市博物館

甲冑はかぶとに鍔形（くわがた）の前立てが付く。青色の糸が使われ、胸板の上部には丸に「両引」の紋があり、大草家の始祖である足利家の家紋を制作時に付けたと考えられるという。かぶとの内側に

は「上州住草之女家則」の名前が刻まれ、江戸時代中頃～後期に制作されたとみられる。隠居した徳川慶喜の護衛役を務めた大草高重は中條景昭とともに旧幕臣を率いて牧之原開墾に従事し、茶園経営者としても成功している。甲冑は当時の人物から信頼された人「貴重な資料」と話している。

（島田支局・中村綾子）

①5月22日まで島田市博物館で展示されている甲冑を愛用したと伝えられている人物とは誰か。文中から漢字4字で抜き出さなさい。

**大 草 高 重**

②前問1の人物は、江戸時代から明治時代にかけてどのような役割を果たしたのか。次の語句を必ず使って説明しなさい。 < 護衛役 >

**（例）** 隠居した徳川慶喜の護衛役を務めたり、旧幕臣を率いて牧之原開墾を指揮したりした。

③文中で述べられている中條景昭はどのような役割を果たした人物か。自分で調べ、その人物に関する魅力的なスポットについて資料を作成し、プレゼンしなさい。

**（例）** 中條景昭は江戸時代に幕府が開設した講武所で剣術を教え、大政奉還後の徳川慶喜の警護を担当しながら、明治時代には牧之原開墾を成功させた。島田市阪本の「中條金之助景昭之像」が設置されている公園を訪れてみると、牧之原開墾の歴史を学べるのと同時に、周辺の茶園や大井川など美しい風景も堪能することができる。など

年 組 名前